

Rock The Life! ezorock



2013年度 活動報告レポート



今月の写真 2013年度、各プロジェクトのベストショットを集めました。



コアスタッフと 代表の座談会

エゾロックとの 出会い・参加したきっかけ

しいちゃん 2011年(大学2年)のRSRのボランティアに友達から誘われて、本格的に活動し始めたのは2012年4月からポロクルで。

ペニー 2011年夏(大学1年)のふくしまキッズ(以下、FK)に、先輩に連れられて、食費交通費タダだし、当時は震災とか意識せず、部活メンバーと一緒に楽しくできばいいと思ってた。2011年6月(大学修士1年)に、先輩に誘われて、説明を聞きに来た時から。

きやん 2011年7月(大学1年)の釜石便。本格的に関わり始めたのは2012年5月から。

今考えている、 当時何を求めていたのか

ペニー 最初は漠然と子どもが好きで大学に入ってFKを知り、やってみたい面白かった。あとは、小学生の頃から野球ばかりやってきて、ふと今後この生活を卒業まで続けて何になるか分からなくなった。コアスタッフ(中心メンバー)の意味。以下、コアと話すようになって、もっとやってみたいと思うようになった。2年生の時、FKと野球部どっちを選択するか迫られてFKを選んだ。後悔はしていない。

しいちゃん わたしがRSRに行った一番の理由は夏休みの思い出が欲しかったからでした。2回目は、しゅわっちから話を聞いて、すごく楽しかったです。学校も余裕があったから。

てる 自分は、RSRもezorock(以下、ezo)もあまり知らなかったから、楽しそうというよりは、何かボランティアをやりたいって気持ちの方が強かった。

きやん 当時は、それまでやってたことに閉塞感を感じたり、自分の意見が受け入れられないことに、すごく嫌気がさしてた時期。最初の時は新歓に行くような感覚だったけど、自分がいる環境を変えたいと思った時に頭の片隅に6があって、2回目は誰かに誘われた訳でなく、自分で勇気出して行った。タケシ どの場面が一番緊張した？

しいちゃん 「RSRのコアやりたい」とって電話した時かな。あだ名を言ったら覚えてくれて嬉しかった。あとは事務所の扉を開いた時だね。

コアスタッフを始めてからの ターニングポイントとは？

きやん 今年のRSRで、やりきった感があった。終わる瞬間から2、3ヶ月放心状態で何もやる気が出なかった。この活動する気も失せて、そのかわり自分を振り返る時間になってた。これまで半年ぐらひやっていたことをゼーンと思い返してみると、その当時は理解できなかったことが、急に腑に落ちてきた。そんな事象が、いっぺんに物事って繋がってるんだ！って思った。物事に対する視点や考え方がガラッと変わった瞬間。

2013年度 活動報告レポート!!

環境NGOからNPO法人へ



'01～12年まで任意団体「ezorock」として活動を続けてきたが、地域づくりや、都市と農村の交流など幅広い分野へ活動が広がりをを見せていたため、NPO法人を'13年4月に取得。新しいステージに進みます。

プロジェクト「NINOMIYA」



札幌近郊の森に眠る資源『未利用材』を利用して薪作りを行い、自分達の将来のために学ぶ資金や機会を作るチームです。活動場所は石狩の南部で、自然に囲まれながら汗を流して活動しました。また、活動中は森や木について学んだり、焚火をして温かい物を飲んだり、日常では体験出来ないこともしています。まだ、出来たばかりのチームなので、今年はボランティアも関係者も協力して進めた一年でした。(元気)

実施期間:5月～11月 制作薪量:約50立米
参加ボランティア:のべ96名 制作薪本数:約2万本
参加モニター*:のべ17名 薪配布か所:8か所
※チェンソーなど技術の必要な作業などをお手伝い頂く有償ボランティアのこと

Volunteer Voice

想像以上に、薪を割ることが出来て楽しかった。また行きたい！女子でも割れるよ！誰でも割れる！（あさ）
未利用材があること、木の特性がそれぞれ違うことが学べました。薪割りはコツを掴めたら割れました！（もやし）

Hokkaido youth sessions GREENDAY (実施日:5/11、12)



若者が活動する団体の多くは、共通の課題に直面し、解決を先送りして見ないふりをすることが多くあります。そのような課題を団体の垣根を越えて一緒に解決し、その仲間と新たなネットワークをつくるなど、次の繋げられるフォーラムを実施しました。

参加者数:のべ161名 参加ボランティア:30名

Volunteer Voice

多くの方とつながれ、自団体ではなかなか共有・相談できなかったことを話し、たくさんの気づきをもたらした。(20代学生)

RSR2013環境対策活動



今年度のRSRでの活動では、初めて4つの活動(オリジナルごみ袋の配布、ごみの分別ナビゲート、ecoアクションキャンペーンブスの運営、オーガニックじゃがいもの配布)が連動し、「From Festival To Your Kitchen!? -生ごみ水切りキャンペーン-」を展開しました。来場者の声の中には、家庭で生ごみの水切りを実践したいといった感想があり、発信したメッセージが来場者に伝わっていることが実感できました。(てる)

実施日:8/16～18 参加ボランティア:188名
ごみ回収量:約57t(リサイクル率:約80%)
オリジナルごみ袋配布:44,000枚
ecoアクションキャンペーン来場者数:1,101人

Volunteer Voice

13分別をした経験が日頃の生活でも生かし、食べ物への感謝の気持ちも忘れずにいたいと思いました。(いの)

大雪山国立公園 旭岳自然保護プロジェクト



昨年までは常にezorockスタッフや旭岳自然保護監視員の方々に付き添って頂いていましたが、2年目を迎えた今年度はコアスタッフのみで引率や活動をさせてもらう機会がありました。その中で、旭岳や自然保護活動についてボランティアへどれだけ伝えられるかを意識しました。また、1年間を通して、前より活動の魅力に気が付くことができ、それを周りの人達に伝えていくことで、参加者の増加につながりました。(たけ)

実施期間:5月～10月 活動日数:24日間
参加ボランティア:のべ105名

Volunteer Voice

旭岳は行くとも毎回違う姿を見せてくれた！花の名前を覚え、お客さんやボランティアに伝えた。ギンザンマシコのつがいが見れた。(じょー)

毎回違う高山植物が咲いていた。旭岳について卒論を書こうと想着いて、その視点からも見る事ができた。(ざん)

地球環境基金の助成を受けております

ふくしまキッズ北海道 (春・夏・冬)

当日参加のボランティアがほとんどだった今までに比べ、3年目を迎えた今年度はボランティアが事前から関わり、チャレンジの多い1年だったと思います。春の活動では、ディレクターとして活動の作りこみからさせてもらい、夏は各受け入れ地域の方々と当日参加のボランティアを繋ぐ役割を担いました。

2014年は、プログラム毎に募集・解散するチームでなく、年間を通して活動するチームにしたいです。そして、北海道で長期休みの子どもたちが楽しく育つ活動が展開できるよう、さらにチャレンジしたいと思います。(ポッポ)

実施期間:春(3/24～4/2)、夏(7/27～8/24)、冬(12/21～29)
参加子ども数:401名 参加ボランティア:186名
受け入れ地域:全12か所(七飯町大沼、留萌市、下川町、栗山町、むかわ町、東川町、滝上町、南富良野町、大樹町、厚岸町、夕張市、標津町)

Volunteer Voice

子どもたちと関わることで、私たちがたくさんの学びがありました。これからも楽しい活動をしていきたいです。(わつきー)
子どもと衣食住を共にして、遊んで、学んで、子どもの成長を感じ、子どもに気付かされることがあります。(あいちゃんみん)

赤い羽根共同募金会の助成を受けております

オーガニックファーム



昨年度までは、様々な野菜を栽培していましたが、今年度は初心にかえり、じゃがいもの栽培のみを行いました。雪解けが遅い影響などもあり、思ったような収穫量が得られないなどの課題も残りました。また、RSRで発生した生ごみを使った堆肥づくりでもなかなか発酵が進まず、農業の難しさを体感した一年となりました。(てる)

実施期間:5月～11月 じゃがいも収穫量:約200kg
参加ボランティア:のべ118人 RSRじゃがいも配布:180個

Volunteer Voice

人の手だけでやる大変さと身近であるはずのごみのリサイクル問題について考えさせられる一日でした。(おまちゃん)

サイクルシェアサービス ポロクル



3年目の今シーズンはこれまでに比べ、主体的にできる活動が増えました。新人研修の内容を考えたり、自転車dayやおでかけマップツアーなどのイベントを企画したり…現場運営の整備・改善から、まちづくりに関わる活動まで、幅広く自分たちで考え、そして多くの団体の方々と協力して取り組みました。その分、同時に課題も感じられたので、次年度につなげていきたいです。(しゅわっち)

現場運営:4/15～11/15 稼働自転車数:300台
クルー総数:64名 稼働ポート数:46カ所
イベント参加者数:のべ150名 年間利用台数:127,780台

Volunteer Voice

エゾロックだけでなく、街づくりを支える人に出会う機会になり、イベント参加はとてもおもしろかった。(みず)
歩行者・自転車・自動車の役を何度も繰り返すから、市内の交通問題を以前より俯瞰的に考えるようになった。(20代男性)

自転車day (実施日:9/8、28、29)



札幌市街の中心部において安心・安全な自転車の利用環境を提案することを目的に、自転車と歩行者の通行空間を分離したイベント「自転車day」を実施しました。特に、当日参加したボランティアの、自転車問題に対する関心に繋がったことが大きな成果でした。

参加スタッフ:のべ82名 自転車レーン利用総数:1,294回

Volunteer Voice

普段は自転車に乗る人に関心がなかったが、他の人がどんな風に自転車に乗っているかを知る良い経験になった。(つるたろう)

地域のイベント環境対策活動

今年度は8つのイベントで活動しました。活動終了後に懇親会に参加したお祭りもあり、活動を通して地域との結びつきがより一層深まりました。(てる)

活動場所:札幌市(篠路(2か所)、澄川、幌北、モエレ)、石狩市(2か所)、小樽市
参加ボランティア数:のべ99人

Volunteer Voice

いろいろな年齢の人が一緒に楽しんでいる姿を見て、地域の良さが深く感じられるお祭りだった。(えびちゃん)

ラジオチーム

今年は、各プロジェクトチームで活躍しているボランティアをゲストに活動内容の紹介やイベントの告知、報告などを実施しました。ラジオチームはメンバーが不足しているところにあるため、2014年は一緒に活動するメンバーの募集に力を入れたいと思っています。

活動は、札幌市豊平区平岸にあるコミュニティFM「FMアップル」にて、第1、3、5火曜日の19時30分～「香るパラダイス」内で「Life Link ezorock」を放送しています。(くま)



参加ボランティア:のべ92名 年間放送回数:51回

Volunteer Voice

初めてのラジオはとても緊張しましたが、始めると緊張は溶け、楽しかったです。次回はもっと、素の自分が出せればと思います。(スマイル)

レコードシェアリング RECO



今年度のRECOは地域のお祭りでのブース出展をメインに行いました。ブースでは、地域の方とレコードを手を取りながら話したり、レコードをプレゼントしました。普段、接する機会が少ない若者と地域の方々ですが、音楽の話題となると自然と話も弾み、思い出を語る方もいました。音楽を通して、様々な世代が繋がれるきっかけを創っていく活動ができました。(きゃん)

レコード総配布数:137枚 レコード受け取り枚数:706枚
スリッシュット数:28枚

Volunteer Voice

最初は遠巻きに見ていても、レコードを何枚か見ていくと、色々な記憶が蘇って目の輝きが出てくるのが印象的。(まか)
レコードについて知らないことだらけだったけど、人生の先輩の話聞くのは、楽しい。(アンカー)

北海道環境ボランティア



地球環境基金の助成を受けております

年間カレンダー

- 1月 定例会議復活(隔週で実施)
- 2月 ポロクルクルー募集開始
定例会議各プロジェクト活動計画発表
レコード整理「レコード大将」実施
- 3月 はるきちオーガニックファーム雪かき
ふくしまキッズ「春」4月上旬
レコード整理「レコード大将」実施
- 4月 NPO法人になる
RSR2013ボランティア募集開始
ポロクル営業開始(11日)
- 5月 夏期間スタート(活動期)
オーガニックファーム活動開始(11月)
オーガニックファーム種いもツアー実施
NINOMIYA活動開始(11月)
GREEN DAY実施
- 6月 鴨々川清掃活動
大雪山国立公園旭岳自然保護プロジェクト開始(10月)
はまなすフェスティバル環境対策
- 7月 EZOCUPボランティア活動(下川町)
ふくしまキッズ「夏」8月中旬
篠路コミセン夏祭り環境対策
幌北地区夏祭り環境対策
モエレサマーフェスティバル環境対策
RECOブース出展(篠路・幌北)
ポロクルおでかけマップツアー実施
- 8月 オーガニックファームじゃがいも収穫
RSR2013環境対策
オーガニックファーム堆肥化ツアー実施
篠路商店街まつり環境対策
ポロクルだいたい・でん出展
- 9月 澄川パフォーミングス通り環境対策&RECOブース出展
小樽ワインカーニバル環境対策
石狩さけまつり環境対策
自転車day実施
- 10月 霧多布湿原木道整備活動(浜中町)
ポロクルおでかけマップツアー実施
札幌市内商店街との連携始まる
交流部企画始まる
- 11月 冬期間スタート(振り返り・研修期)
大沼国立公園ネイチャーマップづくり(七飯町大沼)
- 12月 ezorock忘年会(ロンドン)
ふくしまキッズ「冬」